コネクテッドカーUX ベンチマーク評価 2020

SBDエキスパートによる最先端ナビゲーションおよびインフォテイメントシステムのHMI UX評価レポートシリーズ

優れたユーザーエクスペリエンス（UX）を提供することはコネクテッドカープログラム全体の成功を握る鍵となります。SBDでは最新のナビゲーションおよびインフォテイメントのUXの検証、評価を行っています。

2020年評価対象車種：12車種

2020年の評価対象として、次の3つに分類されるUXを提供する12車種を選定しました。

- 最新/特徴的なUX：前例のない機能や特徴を備えているか、ユーザーが従来抱えていた問題を解決するソリューションを実装。
- 量産車の最新UX：量産セグメントの車種であり、中でも最新世代のUIを搭載。
- 中国/日本市場のUX：中国と日本では米国や欧州とは異なる特徴がUXに求められる。中国のユーザーは、より大胆で面白味のあるユーザーインターフェースと高度なバーチャルアシスタントを、日本のユーザーは詳細情報を得られるかどうかを重視する。

＊評価対象車種は予告なしに変更することがあります。

Leading Ideal ONE

2020年5月発行

Volkswagen Golf

2020年5月発行

Porsche Taycan

2020年7月発行

AIWAYS U5

2020年7月発行

Honda e

2020年9月発行

Land Rover Defender

2020年10月発行

Kia Sorento

2020年11月発行

Volkswagen ID.3

2020年12月発行

Polestar 2

2021年1月発行

Haval F7x

2021年2月発行

Genesis GV80

2021年3月発行

Mustang Mach-E

2021年4月発行

コネクテッドカーUXベンチマーク評価シリーズについて

本シリーズはSBDのテクニカルエキスパートチームによる評価をまとめたもので、欧州、米国、中国、日本市場で提供されている最新のナビゲーションおよびインフォテイメントシステムを評価対象としています。

主に以下の4つの方法を通じ、開発サイクルの様々な段階にあるお客様を支援します。

ベンチマークとスコアの提示
関心分野の特定
ベストプラクティスの概説
具体的な改善策の提言

機能性、人間工学、ユーザビリティというユーザーエクスペリエンスを構成する3つの主要な要素に基づいて各システムを評価し、公正なスコアを示します。

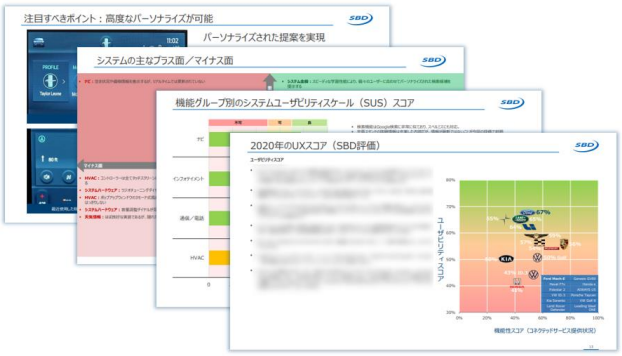
2019年には、欧米中日の12車種（VW Touareg、Ferrari Portofino、BMW 3シリーズ Live Cockpit、Hyundai NEXO、 Audi A1、Mazda 3、Chevrolet Malibu、Renault Clio、Peugeot 208、Weltmeister EX5、Toyota Crown、Exeed LX）の評価レポートと総括レポートを発行しています。詳細は **こちら** よりご確認いただけます。

コネクテッドカーUXベンチマーク評価　2020

レポート番号: CON619
本レポートシリーズでは評価対象車種に搭載されているナビおよびインフォテイメントシステムをSBDのテスト原則/基準に基づき、車両の静止中と走行中に評価し、分析結果をまとめています。2020年は計12車種毎のレポートに加え、2020年のトレンドや評価対象12車種の概要・比較をまとめた総括レポートを発行します。

調査の概要

車載システムのテスト担当者の見解、SBDによるUXスコアの比較、注目すべき機能、システムの主なプラス面とマイナス面など

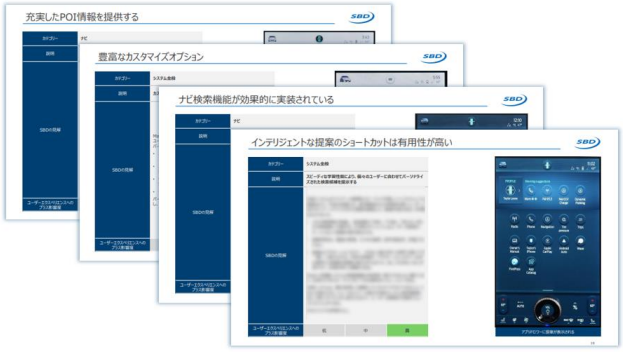


音声認識

車載システムの音声認識機能の評価結果

プラス面

評価車種のプラス面の概要、SBDの見解、重要度、ユーザーエクスペリエンスに及ぼす影響



システムコンポーネント

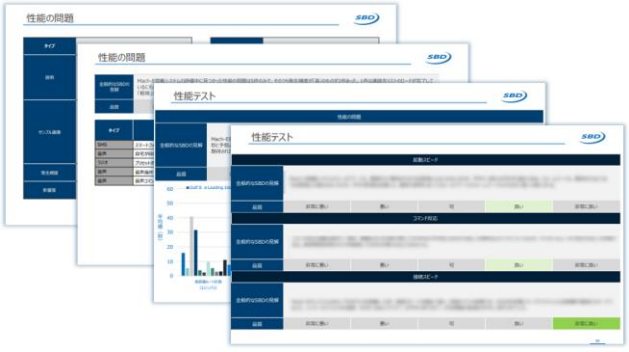
システムコンポーネント（メインディスプレイなど）の評価結果

マイナス面

評価車種のマイナス面の概要、SBDの見解、重要度、ユーザーエクスペリエンスに及ぼす影響

システム性能

利用可能な機能とシステム性能に基づく客観的スコアと結果



SBD Automotive ジャパン
postbox@sbdautomotive.com　052-253-6201　www.sbdautomotive.com/ja